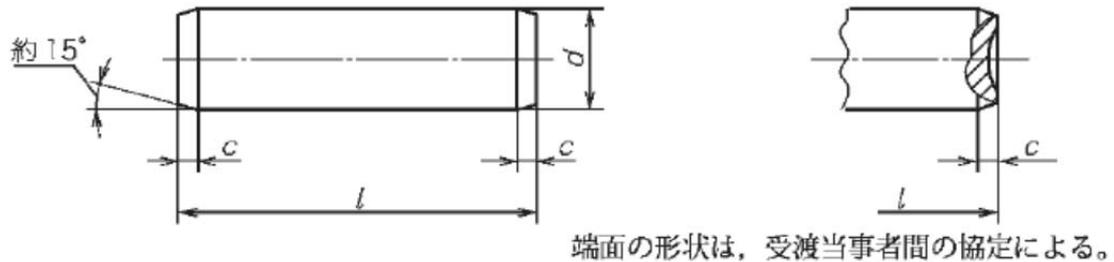


<設計参考情報>

JIS B 1354:2012 平行ピン

平行ピンの種類と形状が変更になっています！



直径 $d$ の公差域クラスは、 $m6$ (表面粗さ  $Ra0.8$ )と $h8$ (表面粗さ  $Ra1.6$ ) の2種類になりました。

また、以前は A 種 B 種と呼び名がありましたが、JIS を確認する限り、現在では使われていません。ただし、メーカーや商社では、従来の寸法公差に適用させて A 種 B 種でも通用するようです。

JIS では下記のように表記すると記載されています。

例 1) 呼び径  $d=6\text{mm}$ 、公差域クラス  $m6$  で、呼び長さ  $L=30\text{mm}$  の硬化処理を施さない鋼製の平行ピンの場合

平行ピン JIS B 1354-ISO2338-6m6 × 30-St

Steel の意味と思われる

例 2) 呼び径  $d=6\text{mm}$ 、公差域クラス  $m6$  で、呼び長さ  $L=30\text{mm}$  の焼入れ焼き戻しを施した S45C 鋼製の平行ピンの場合

平行ピン JIS B 1354 -6m6 × 30-St-S45C-Q

Quenching の意味と思われる

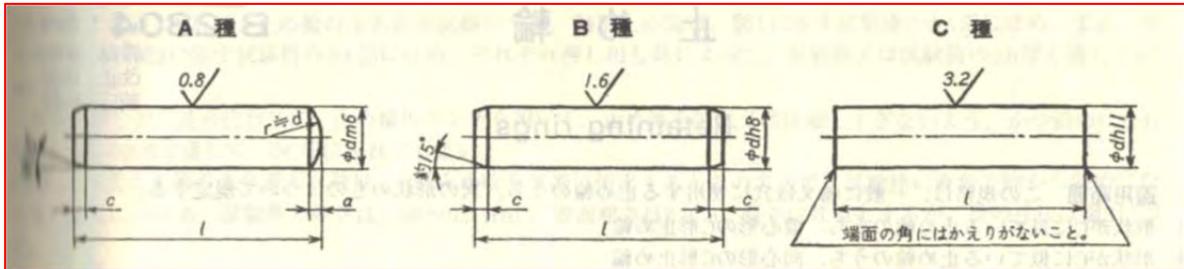
なぜか ISO 記号はない

例 3) 呼び径  $d=6\text{mm}$ 、公差域クラス  $m6$  で、呼び長さ  $L=30\text{mm}$  の硬化処理を施さない鋼種区分 A1 オーステナイト系ステンレス鋼製の平行ピンの場合

平行ピン JIS B 1354 -ISO2338-6m6 × 30-A1

ボルトの強度区分に用いられる記号と同じと思われる

参考:以前の規格 JIS B 1354:1998 平行ピン



公差域クラス m6  
片面面取り、片面 R 形状

公差域クラス h8  
両面面取り

公差域クラス h11  
面取りなし